

# VMware Workspace ONE: Skills for Unified Endpoint Management (VMware Workspace ONE : 統合エンドポイント管理において必要なスキル)

## コースについて

この 3 日間のコースでは、統合エンドポイントの有効化、登録、リソース統合を構成し、保護する方法について説明します。業界で広く利用されているエンタープライズ テクノロジーを VMware Workspace ONE® UEM (統合エンドポイント管理) Console に統合する方法を学習します。

ハンズオン ラボ、シミュレーション、対話型の講義を通じて、エンドポイント ライフサイクルの構成方法と管理方法を習得します。コースを通して、エンタープライズ モビリティと統合エンドポイント管理の基本原則についても説明します。Workspace ONE UEM を効果的に実装するための基本的なスキルと知識を身に付けることができます。

## コースの目標

このコースを修了すると、次のことができるようになります。

- Workspace ONE ソリューションの主要コンポーネントについて理解する
- Workspace ONE UEM のエンタープライズ統合と生産性統合のコンポーネントについて理解する
- Workspace ONE UEM Console を操作する
- 統合コンポーネントの詳細について理解する
- Workspace ONE UEM とディレクトリ サービスの連携について理解する
- 環境のグループ構造について理解し、実際に作成する
- 各エンドポイント プラットフォームにおける加入方法とエンドポイントの管理方法について理解する
- Workspace ONE UEM の登録とエンドポイントの加入における要件を把握する
- VMware Workspace ONE® Intelligence™ Hub アプリケーションを使用してモバイル デバイスとエンドポイントの加入と管理を行う
- アプリケーションをプロビジョニングし、保護する
- 統合アプリケーション カタログを有効化する
- プロファイルと順守ポリシーを作成し、実装する
- デバイス コマンドについて理解し、発行する
- E メール構成を管理する
- コンテンツ リソースを統合し、アクセスをプロビジョニングする
- レポート機能と監査機能について理解し、これらを使用して情報を分析する
- VMware Workspace ONE® Intelligence™ を活用して高度なレポート作成と自動化を実行する
- 一般的なトラブルシューティング方法を適用する
- Workspace ONE を使用して統合エンドポイント管理を実装する

## 対象者

Workspace ONE の管理者、モバイルと ID の上級管理者、アカウント マネージャ、ソリューション アーキテクト、ソリューション エンジニア、セールス エンジニア、コンサルタント

## 前提条件

このコースに前提条件はありません。

## 受講方法

- 教室開催
- ライブ オンライン
- [オンサイト トレーニング](#)
- [オンデマンド](#)

## 使用製品

- VMware Workspace ONE® 20.x
- VMware Workspace ONE UEM 20.x
- VMware Workspace ONE Access® 20.x
- VMware Workspace ONE® Boxer
- VMware Workspace ONE® Content

## コースのモジュール

### 1 コースについて

- 概要およびコースの流れ
- コースの目標

### 2 Workspace ONE 統合エンドポイント管理の概要

- Workspace ONE プラットフォームによる統合エンドポイント管理の基本原則と基本機能
- Workspace ONE UEM の基本実装
- Workspace ONE UEM による最新の Windows 管理

### 3 Workspace ONE UEM Console

- Workspace ONE UEM Console の機能
- Workspace ONE UEM Console の操作方法

### 4 Workspace ONE UEM のアーキテクチャ

- Workspace ONE UEM の共通統合コンポーネント
- Workspace ONE UEM のコア コンポーネント
- ディレクトリ サービス統合の導入によるメリット
- 証明書認証局との統合の導入によるメリット
- E メール SMTP 統合の導入によるメリット
- VMware AirWatch® Secure Email Gateway™ の導入によるメリット
- VMware Unified Access Gateway™ の導入の目的
- VMware Tunnel™ の導入によるメリット
- コンテンツ ゲートウェイの機能

### 5 モバイル エンドポイントの加入と管理

- UEM のオプション
- Workspace ONE UEM のエンドポイント管理の構成
- モバイル エンドポイントの加入
- Apple Device Enrollment Program の機能とメリット
- 特別な自動加入機能で Android エンドポイントを Workspace ONE UEM に加入させる手順

### 6 Windows 10 のオンボーディング

- Windows 10 エンドポイントのオンボーディングの基本原則
- IT 部門主導型とユーザー主導型の基本的な加入方法による Windows 10 デスクトップのオンボーディング
- クラウドベースの Windows 10 自動検出サービスの構成手順
- Azure AD 連携の構成手順
- Office 365 アプリケーションを使用した Windows 10 デスクトップの加入

### 7 macOS エンドポイントの加入

- macOS エンドポイントの加入の基本原則
- IT 部門主導型とユーザー主導型の基本的な加入方法による macOS デバイスのオンボーディング
- ステージング用の macOS エンドポイントの準備

### 8 アプリケーションへのアクセス制御とセキュリティ

- Workspace ONE UEM で利用できるアプリケーション管理機能とそのメリット
- Workspace ONE UEM のアプリケーション管理機能の概要
- パブリック アプリケーションの管理戦略の策定
- アプリケーションのセキュリティ戦略の設計
- アプリケーションの管理戦略において Windows 10 ビジネス ストア ポータルが果たす役割
- Win32 アプリケーションの展開
- VMware Workspace ONE® SDK を利用するメリット

### 9 Eメールの構成

- Workspace ONE UEM で E メールを管理するメリット
- 管理対象の E メール設定の展開
- E メール統合モデルの評価
- VMware AirWatch® Secure Email Gateway™ の実装のサポート
- PowerShell の統合
- Google Sync 統合のサポート
- E メール順守ポリシー戦略
- E メール通知サービスの機能と特長

### 10 コンテンツとリソース

- Workspace ONE UEM でコンテンツ管理を実行するメリット
- Workspace ONE Content アプリケーションの機能とメリットの概要
- Workspace ONE Content アプリケーションのメリット
- Workspace ONE Content アプリケーションからコンテンツとリポジトリにアクセスする方法
- 個人用コンテンツ機能の使用に関するエンドユーザーのサポート
- エンドポイントからのアクセスを可能にするコンテンツ管理戦略の策定
- コンテンツ ゲートウェイによる内部リポジトリへのアクセス方法

### 11 エンドポイントの保護と構成

- Workspace ONE UEM Console が提供するエンドポイントとコンソールの包括的なセキュリティ機能
- 管理ロールの使用方法
- エンドポイント管理におけるプロファイルとリソースの適切な使用方法
- Windows 10 のポリシー管理
- 製品のプロビジョニング
- 順守ポリシーの構成
- Workspace ONE UEM によるエンドポイント管理
- セルフサービス ポータルを使用したエンドポイント管理

## 12 Workspace ONE Intelligence および UEM の レポート作成機能

- Workspace ONE Intelligence の機能と特長
- Workspace ONE Intelligence が UEM 戦略に及ぼす効果
- レポート戦略の実行方法
- Syslog と Workspace ONE UEM の連携手順
- テレコム管理のメリット

## お問い合わせ

このコースに関するご質問や登録方法については、  
[japan-education@vmware.com](mailto:japan-education@vmware.com) までお問い合わせ  
ください。



ヴァイムウェア株式会社 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 13F [www.vmware.com/jp](http://www.vmware.com/jp)

© 2020 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品またはワークショップ資料は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、<https://www.vmware.com/jp/download/patents.html> のリストに表示されている 1 件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

VMware は、一般的に認められている業界基準と慣例を使用して妥当な方法で、ここで記載されているワークショップ サービスを提供することを保証します。上記明示保証は、VMware が提供するサービスおよび成果物、ならびにそれらのサービスおよび成果物から得られる結果に関する、明示、黙示、法定、その他のあらゆる保証（商品性に対する黙示保証および特定目的に対する適合性の黙示保証を含みます）に代わるものです。VMware は、お客様に対して特定または参照した、いかなる第三者のサービスまたは製品に対しても責任を負いません。本ワークショップにおいて提供される資料（以下「ワークショップ資料」といいます）の著作権は VMware に帰属します。VMware は、お客様が許諾を受けた VMware 製品についての社内での理解、利用、運用を促進する目的に厳に限って本ワークショップのお客様にワークショップ資料の使用および合理的な範囲でコピーを作成することを許諾します。前述の明示された場合を除き、本ワークショップの条件の下で許諾された知的財産権およびその他のいかなる許諾された権利を他者に譲渡することを禁止します。米国内のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware, Inc. になります。米国外のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware International Limited になります。